



おすすめ図書紹介

ピカソになれない私たち

美術教育の日本最高峰、東京美術大学の油画科に属する美大生たちの、奮闘と葛藤を描いた青春小説です。

登場人物である男女4人の学生それぞれの物語がリアルに描かれており、読み進めていくにつれ、登場人物の核に触れることができます。美大生ならではの個性豊かなキャラクターも、非常に見どころだと思います。登場人物が抱く、作品に対する苦悩や、将来への不安、他者に対する嫉妬などの、



一色 さゆり 著／幻冬舎

大学生ならではの悩みは、本学学生も共感する部分が多いのではないのでしょうか。

芸術分野に興味がある方だけでなく、多くの学生に読んでほしい一冊です。芸術分野は正解がないからこそ難しい、と本作を読んで感じました。

ダンス研究室教務補佐 吉浪 祐香

透明な夜の香り

この物語は、古い洋館に住んでいる調香師という香水や化粧品を作る仕事をしている小川朔が、事件の謎を解き明かしていくお話です。そして、アルバイトで働く若宮一香が朔を助けます。ここにやってくるお客たちは、何かしらの謎を抱えています。それを朔が次々と解決していくのです。朔は仕事柄、とても鼻が敏感なのですが、香りだけでなく人の嘘なども鋭くかぎ分けてしまいます。一香は朔のもとで働くうちに香りについても少しずつ学んでいきます。



千早 茜 著／集英社

私は、この本を読んでいる時、文中に表現される沢山の匂いを想像していました。匂いには敏感な人とそうでない人がいると思いますが、私はこの本を読んで、匂いを強く意識するようになりました。人にはそれぞれ好きな匂いがあり、それが心を豊かにしてくれると思います。皆さんも、この本を読んで匂いについての想像を膨らませてください。

体育学部4年 伊藤 愛泉

Information

DVD紹介

20世紀に輝いた世界の女性たち2 ココ・シャネル

「20世紀に輝いた世界の女性たち」は世界で活躍した偉大な女性たちに焦点を当てたイギリスBBC制作の全12巻ドキュメンタリーシリーズです。

第2巻は「ココ・シャネル」を扱っています。ココ・シャネルは、20世紀を代表するブランド『シャネル』を立ち上げた人です。化粧品や香水・バッグ・ドレス、どれも豪華で気品があり、世界中の女性の憧れです。窮屈な服装で縛られていた20世紀初頭の女性たちに、動きやすく自由なファッションを提案し、革命を起こしました。

しかし、その創業者ココ・シャネルは決して裕福な生まれではありませんでした。彼女がどのようにしてトップデザイナーとなったのか、その栄光の影に何があったのか。再現ドラマや当時の映像などで、分かりやすくまとめられています。

図書館事務室 大浦 京子



BBC Active

9:00~13:00	9:00~14:00	9:00~16:00	9:00~17:00
9:00~19:00	9:00~20:00	終日閉館	未定

2020年 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2020年 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2021年 2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2020年 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2021年 1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2021年 3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

編集・発行：東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
図書館運営委員会
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

TWCPE Library Report

LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学
図書館報
2020秋号 No.32

夢みたものは……

立原道造

夢みたものは ひとつの幸福

ねがつたものは ひとつの愛

山なみのあちらにも しづかな村がある

明るい日曜日の 青い空がある

日傘をさした 田舎の娘らが

着かざつて 唄をうたつてゐる

大きなまろい輪をかいて

田舎の娘らが 踊ををどつてゐる

告げて うたつてゐるのは

青い翼の一羽の小鳥

低い枝で うたつてゐる

夢みたものは ひとつの愛

ねがつたものは ひとつの幸福

それらはすべてここに ある と



七帝柔道記

手に汗を握って読みふけた小説に増田俊也氏の「七帝柔道記」があります。旧帝国大学の七つの大学が今なお大切に守り抜いている寝技主体の柔道大会に臨む柔道部員の姿を描く青春小説です。

寝技の稽古に励むその描写は、柔道経験者ならば「辛く、厳しく、切ないもの」であることが読み取れ、臨場感から息があがりました。その部員たちを「寝技は練習すればするほど確実に強くなる」、「練習量がすべてを決定する柔道」という事実が支えています。

寝技には確立された手法があり、その手法を返し練習することで、寝技の力量は確実に高まります。「練習量がすべてを決定する」という言葉のもつ意味や価値、その深さを改めて考えさせられている自分がいます。

保健体育科教育研究室 野口 敏朗



増田 俊也 著／角川書店

書籍紹介

乳酸を活かした スポーツトレーニング(新版)

皆さんは部活や体育実技の時間で疲れてきたときに「乳酸が溜まってきた」という言葉を使っていませんか？

「乳酸は疲労物質」という考えは今でもよく耳にします。しかし、現在の考え方では乳酸は疲労物質ではなく、必要なエネルギー源となっています。

では乳酸とは何？なぜ運動中に疲労するの？いろいろな疑問が浮かんでくると思います。今回紹介する本は、そのような疑問をわかりやすく説明してくれる本になっています。この本には東京女子体育大学の学生には知って・理解しておいてほしい知識が詰まっています。内容的に難しいと感じる箇所も存在すると思いますが、読むだけで理解できるところもたくさんあると思います。

学生の多くが日々体を鍛え、将来的には指導者になる人もいます。この本を読むことで、トレーニングに関して新たな考えが生まれ、トレーニングへの意識が変わることもあるかもしれません。



八田 秀雄 著／講談社

野外運動研究室 酒井 紳

AI vs. 教科書が読めない 子どもたち

AI研究者である著者は、人工知能が東大合格点をとれるかをチャレンジしてきました。その研究の過程で、日本人の読解力について非常に興味深い調査結果がでました。中高生の多くは、表層的な知識は豊富だが、中学校程度の教科書の文章すら正確に理解できないことが分かったのです。

『幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。』この文が表す内容と以下の文が表す内容は「同じ」か「異なる」か。『1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。』

この問いに対する中学生の正答率は57%でした。2択問題ですから、何も考えなくても50%の確率です。さて大学生のあなた、正解は解りますね。

教育学研究室 石出 勉



新井 紀子 著／東洋経済新報社

忙しい人のための 公認心理師試験問題集 (上下巻)

専門職は仕事上、資格を持たなければなりません。本学でも、教員免許や保育士免許を取得し、その後、就職試験を突破するために、更なる勉強に追われている人が少なくないと思います。私も、臨床心理士・精神保健福祉士・公認心理師の資格を取得するために、試験勉強を行いました。

その中で、問題形式には一定のルールがあり、仮に正答がわからなくても、国語力や消去法を用いれば、正答を導き出せることがわかりました。

本書は、色々な試験でも応用が利く、「解き方のテクニック」を記載しています。部活や課題で忙しい皆さんにぜひ本書冒頭の「点を取る技術」だけでも読んでいただきたいです。皆さんにとって効率的合理的な学習につながるであろうと考えます！

保育・社会福祉研究室 青山 有希



青山 有希、喜田 智也、小湊 真衣
編著／明誠書林

ファクト フルネス FACT FULNESS

世界の人々に「世界はどのように変化していますか」と問うと、大半の人は、世界はどんどん悪くなっている、と答えます。「世界の人口のうち、極度の貧困にある人の割合は、過去20年でどう変わったでしょう」という3択の問い(A: 約2倍、B: 変わらない、C: 約半分)の正答率は、ほとんどの国で10%未満でした。正解はC。極度の貧困の中で暮らす人の割合は、何と世界の人口の29%から9%まで下がったのです。

「ファクトフルネス」とは、著者の一人ハンス・ロスリング(スウェーデンの医師)の言葉で、この本の趣旨でいえば、「事実に基づいて世界をみる」という意味です。この本を読むと、事実に基づいて世界を見ることの大切さとそのための方法が見えてきます。勘違いに気付き、よりよい世界にしていくなために何ができるかを考えることのできる良書です。



ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド 著／日経BP社

社会研究室 吉村 潔